

2027 年横浜国際園芸博覧会について

- 2027 年における A1 クラスの国際園芸博覧会の開催を推進している横浜市からの要望を踏まえ、農林水産省及び国土交通省は、有識者等による「国際園芸博覧会検討会」を 2019 年 9 月に設置。3 回にわたり審議をいただき、国が関与して国際園芸博覧会を開催する意義をとりまとめいただいた（概要別紙）。
- これを受け、農林水産省及び国土交通省において、AIPH の規約に基づき、2027 年横浜国際園芸博覧会への支援を表明する政府支持書を、2020 年 2 月 12 日付けで、AIPH（国際園芸家協会）に提出した。

（政府支持書の内容）

- ・ AIPH の活動に対する一般的な敬意の表明
- ・ 日本における A1 クラスの国際園芸博覧会の実績
- ・ 横浜市が園芸博覧会の規則を遵守することを約束している旨
- ・ 政府による 2027 年横浜国際園芸博覧会への支持表明

- 米国にて開催された AIPH 春会議（2020 年 3 月 2 日）において、横浜市渡辺副市長等からの事業展開、会場構成などに関する検討状況報告に続き、農林水産省及び国土交通省から AIPH へ政府支持書（サポートレター）を提出した旨の表明を行った。



横浜市渡辺副市長挨拶



プレゼンテーション



政府支持表明を歓迎する AIPH